

整形外科

【診療科概要】

当科では整形外科全般を対象としていますが、平成18年4月より常勤5名の体制となり、整形外科・外傷センターを立ち上げ、骨折などの救急処置の必要な症例にも積極的に取り組んでいる。平成22年度は900例以上の手術を行い、急性期のほとんどの骨折の治療を経験することが可能である。平成23年4月より常勤医6名となり、速やかに対応、処置、必要ならば手術を行うことで、早い社会復帰画ができるように心がけている。

日本整形外科学会の研修施設認定を受けており、整形一般、変形性関節症などの関節疾患や頸椎症、腰部脊椎管狭窄症、腰椎椎間板ヘルニアなど脊椎・脊髄疾患の専門医がおり、小児整形外科、関節リウマチなどの幅広い疾患に対応できるように体制を整えているとともに、日本体育協会スポーツ専門医も2名おりスポーツ外傷にも対応可能である。

積極的に学会活動にも参加している。高齢化が進むと共に、腰椎圧迫骨折や大腿骨頸部骨折など高齢者の日常生活動作や予後に影響を与える整形外科疾患が、注目され、骨折予防の観点から骨粗鬆症の検査、治療にも力を入れている。

また、神奈川県西部地区の外傷・整形外科疾患の基幹病院として、近隣医院、病院と連携をとり、速やかな対応をとっている。

【目標と理念】

整形外科専門医取得のために必要な知識と診療・検査・手術技術を習得することを目標とすることはもちろんであるが、人間として、医師としての資質を高めることである。患者さんの生活動作を改善し、より良い人生が送れるようにそれぞれの社会生活まで理解して、治療できるようになることを理想とする。

【到達目標】

1年次：

指導医の指導のもとに入院患者を中心に研修する。整形外科としての基本的な病歴取り方、診察、所見がとれる。特に骨折など外傷などの病歴、所見と神経学的な所見がとれる。シーネやギプスなどの固定や牽引が的確に行える。

また、関節穿刺・注射・造影や脊髄造影などの検査・治療手技を習得し、所見を説明できる。

手術に助手として参加し、簡単な手術は施行できる。

症例提示が的確に行え、学会や研究会に積極的に参加し、学会発表、論文発表が行える。

2年次：

外来・病棟など日常診療を指導医のもとスタッフと同様に行う。整形疾患の理解を深め、治療法による予後や治療法を説明し、選択、判断できるようになる。

肩関節脱臼などの整復固定術、各種骨折の整復固定が行えるかまた、大腿骨頸部骨折などの観血的整復固定術などは、指導医のもとに整復・手術が行えるようになる。

治療成績を検討し、学会、論文発表を行う。